



令和6年度 厚沢部小学校の教育



I 学校経営の基本理念

全教職員の英知と情熱を結集させ、子供たちの現在と未来の幸せにつながる教育をすすめる

II 学校経営の全体構想

北海道の教育理念
自立と共生

檜山管内教育の重点：一人一人に寄り添いながら、つながり・学び合い、未来を支える
厚沢部町の教育目標：みんながいきいき暮らすまち

●学校教育目標

- よく考える子供（友達とともに学び合える子供）
- 思いやりのある子供（相手の立場に立って考えられる子供）
- がんばりぬく子供（目標に向かって努力する子供）
- じょうぶな子供（健康な生活を送ることのできる子供）

認定こども園はぜる

厚沢部中学校・鞆小学校・館小学校

保護者・地域のねがい

厚沢部小学校運営協議会（CS）

●重点教育目標

主体性（みずから）、協働性（ともに）、自己効力感（みんなのために）の育成

●目指す学校の姿

子供を主語、一人一人のよさや可能性が十分発揮できる学校

1 子供たちが生き生きと学び、明るく生活できる学校



2 教職員一人一人のよさが生きる働きがいのある学校



3 保護者・地域住民に信頼され、共に歩む開かれた学校



●学校経営方針

- 1 厚沢部小学校すべての児童の学習権が保障されるよう努める
- 2 意図的、計画的な教育活動を通して、教育目標の具現化に努める
- 3 教育愛、研究心、実践力に溢れた教職員の活力ある協働体制を確立し、経営参画意識の高揚と組織体としての活性化に努める
- 4 確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育む調和と特色のある教育課程を編成し、計画・実施・評価・改善（PDCA）のシステムを機能させて、創意に富む教育活動を推進し、成果を上げる
- 5 子供の前に立ち続ける職業であることの自覚のもとに、児童・保護者・地域の信頼に応え、また、本校の教育課題の解決に向けた不断の研究と修養に努める
- 6 豊かな感性を培い、望ましい人間関係を確立し、自他の生命を尊重する教育の推進に努める
- 7 地域の特性を生かし、地域とともにある学校として「明るいあいさつ」を合言葉に、家庭・学校間・地域社会に働き掛けながら、一層の相互理解と連携に努める

